

支えあいが育む・地域の和

ふれあい馬宮

2026年 5月号
(通巻 第71号)

発行

馬宮地区社会福祉協議会

西区西遊馬 533-1

TEL&FAX 048-626-2766

ホームページアドレス

https://mamiya_shakyo.com/



新年度がスタート!!

ホームページもリニューアル!

地域とのつながりを大切に

防災の心構え・地域の和

馬宮地区社会福祉協議会



会長 木下國臣



東日本大震災

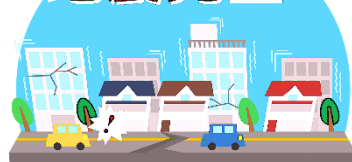


東日本台風十九号

あの日 十五年前の三月十一日の午後二時四十六分十八秒東日本大震災、多くの尊い人命や平穏な生活の基盤を奪い、未曾有の災害になりました。そして、令和元年、東日本台風一九号で荒川の支流があふれたため、道路の冠水や浸水被害が出ました。幸いにも荒川の堤防は持ちこたえてくれました。

日々の暮らしに防災の意識を!! 今こそ確認しよう避難の基本。今、災害が起こるかもしれません。いざという時に自分の身を守るのは、やはり自分自身です。

地震発生!!



命を守るための最善の行動をとりましょう。



災害時は、どう行動すればいいの?

避難場所に向かう時、何を持っていくべきなのか? どこに避難すればいいの? 皆さまは避難場所にたどり着けば大丈夫と思っていないませんか?

災害発生時のなかでは自分の力で問題を解決しなければなりません。

避難場所に行けば、水や食料があるというのはい込みです。必要最低限の物は自分で用意しましょう。日頃から最低3日分の食料は備えておいて下さい。避難時には無理のない範囲で、当面の生活に必要な物を持って行きましょう。

避難・避難所



3日分

副会長選任



まずは自治会に加入し、災害時は自治会長や自主防災会長からの指示に従っての行動が重要と思います。



馬宮地区老協会長 小藤 伸一



馬宮地区民児協会長 知久 雅夫



馬宮地区自治連会長 栗原 庸至

定期総会無事終わる



去る4月24日(金)、令和8年度定期総会が馬宮公民館レクホールにおいて開催されました。



全ての議案が承認され、滞りなく総会は無事終了しました。

ご来賓に岩崎西区長をはじめ、さいたま市社会福祉協議会西区事務所の岡本所長、西区健康福祉部の米山部長ほか、地区内の諸団体会長や学校の校長先生方など多数の皆様のご列席を賜りました。

賛成





3月28日(日)4月中旬の天気恵まれ、びん沼川さくらウォーキングが開催されました。空でモズがチィチィチとさえずり、川面には餌を探すハシビロガモやオオバンの群れ。満開の桜の下、ランドセルを背負ったピカピカの一年生を撮影する両親の笑顔。澄んだ空気が美味しい！みんな晴れて良かったね。菜の花と桜の見事なコン



トラストに癒され、くじ引きで当たったトマトを手 に帰路に着きました。老木化が進む桜と後期高齢者の私達。頑張っ ても再会しましょうね。

参加者172人 びん沼川さくらウォーキング



弥生ふれあい会

季節外れの雪まじりの雨の中、3月10日(火)「弥生ふれあい会」が馬宮公民館で開催され、40名の方が参加されました。

社会福祉協議会木下会長の挨拶の後、「マルヒア」の皆さんによるフラダンスのアトラクションがありました。音楽に心が癒され、曲に合った色鮮やかな衣装、しなやかな手の動きに目を奪われました。童謡「チューリップ」を一緒に踊ると自然に笑みがこぼれました。

ちらし寿司をメインに海老シュウマイ、菜の花の辛子味噌和えなど春らしい心のこもった手料理に参加者も大満足でした。大勢での食事は楽しくおしゃべりもはずみしました。来年もスタッフ一同心よりお待ちしております。

お知らせ

令和8年度「馬宮まごころ基金」

本年度も昨年同様交付します

※ 詳細は自治会回覧で!!

New まもなくホームページリニューアル

皆さん、お待たせしました。昨年の1月から「ホームページリニューアル工事中」となっていました。まもなく新しいホームページがオープンします。(6月予定)

今回のリニューアルの目玉は、

- ① スマホで見やすい画面
⇒ 1ページの幅を狭く
- ② 他の団体との連携
⇒ 自治会連合会 老人クラブ協議会 他
- ③ 双方向の画面
⇒ 各種事業への参加登録 ボランティアの登録等

スマホで見る



連携する



メンバー登録



生まれ変わった馬宮地区社会福祉協議会ホームページを、よろしくお願いします。ぜひ一度覗いて見てください。

編集後記

期となりました。

春の日差しが心地よい時

昨今は、異常気象がノーマルへ、そして季節が「四季」から「二季」へ変化したと言われています。去年の夏は、皆さんの自宅のエアコン等がフル稼働したと思います。エアコン無しの灼熱の夏を避けるため、本格的な夏が来る前に冷房設備の点検を考慮してみてもいいかもしれません。

